

美術博物館開館記念

出光美術館 日本陶磁名品選

～江戸時代前期の多彩な装飾世界～

7月27日(土)～8月25日(日)

江戸時代前期の古九谷(こくたに)を中心に、赤絵、金銀彩(きんぎんさい)、瑠璃釉(るりゆう)などの装飾スタイルの日本陶磁の名品73点を展示し、華やぎの世界を紹介します。見どころは、力強い意匠と、大胆な構図、深みある彩釉、口径30cmを超える古九谷の大皿。緑と黄色の対比が鮮やかです。

●ミュージックインミュージアム

とき 8月10日(土) 13時開場、14時開演

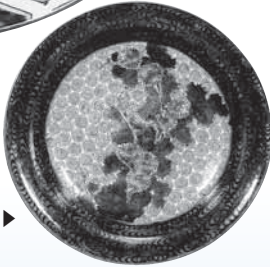
ところ 市民会館

内容 美と戯れるをテーマに、オペラアリアを歌い上げます

申し込み・詳細 出光興産株式会社 北海道製油所 ☎56-0716 (平日9時～17時)



▲色絵亀甲獅子花鳥文大皿



色絵菊文大皿▶

●記念講演会(無料)

とき 8月3日(土) 14時～15時30分

定員 80人 申し込み順

内容 出光美術館学芸課長代

理 やつなみひろかず 八波浩一氏による、出光美術館の日本陶磁コレクションについて

申し込み 7月5日(金) から電話で

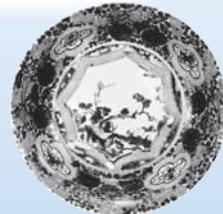
色絵金銀彩花籠文皿5客▶

休館日 毎週月曜日(7月29日を除く)

観覧料 一般=800円(前売り600円)
大学生・高校生=400円(前売り300円)
中学生以下=無料



色絵花鳥文大皿▶



色絵花卉文瓢形徳利1対▲

※全て出光美術館所蔵品

展覧会スケジュール

7月6日(土)～21日(日)

開館記念プレ企画展
「苦小牧美術の原風景」
郷土画家による風景画の紹介
(会場 ロビー)

9月
遠藤ミマン生誕100年記念展・
勇弘原野を愛して
苦小牧の美術界を牽引した、遠藤ミマンの世界

10月
苦小牧港開港50周年記念展
苦小牧港の港の貴重な写真や資料などを展示

12月
第7回北海道現代具象展
新たな具象表現を追求する作家たちの作品

1月
子どものための美術館
親子で自由に会話をしながら鑑賞を楽しむ

3月
手で観るミュージアム
おはなしミュージアム
手で触れたり、昔話の世界を楽しめる、同時企画展

苦小牧市の美術館は、苦小牧の文化発信拠点である市民文化公園に位置し、博物館との複合施設という特徴を持っています。博物館にある郷土資料などに触れながら、アートを体験できたり、図書

苦小牧市の美術館は、苦小牧の文化発信拠点である市民文化公園に位置し、博物館との複合施設という特徴を持っています。博物館にある郷土資料などに触れながら、アートを体験できたり、図書



苦小牧市美術博物館

三村 伸 主査

自然や歴史・芸術の枠にとらわれない複合施設という特徴を生かした事業や、展示を積極的に行う。

インタビュー

苦小牧らしい美術博物館について聞いてみました

苦小牧ならではの取り組み
まちな美術館へと高めたい

博物館との複合施設

館やサンガーデン、総合体育館などと隣接するさまざまな施設があることから、散歩のついで、図書館に本を返すついでなど、気軽に立ち寄っていただければと思います。

美術や芸術は、私たちの生活に潤いを与え、忙しい日々の癒しとなります。また、子どもたちは、その体験によって豊かでしなやかな心が育まれます。郷土の作品をはじめ、一流の作品を見ることが、感動や学ぶ喜びを得ることでしょう。新しい美術館の良さを感じていただけたらと思います。

市民のみなさんの想いから生まれた美術館を、多くの方に親しまれる文化芸術の施設にしていきたいです。建物が完成した、ここからがスタートです。市民のみなさんとともに成長し続けられるよう、複合施設ならではの企画を積極的に開催していきます。ぜひみなさんも気軽に足を運んで、アトに触れてみませんか？